

永世中立28周年記念インタビュー

敬愛なるセルダル・ベルディムハメドフ大統領閣下、友好国トルクメニスタンの国民の皆さん。日本国政府及び日本国民を代表し、トルクメニスタンの永世中立28周年を心からお祝い申し上げます。

1995年12月12日に国連総会決議によって永世中立の地位が認められて以降、トルクメニスタンが中立国としての立場を最大限活用し、地域と国際社会の平和と安定に積極的な貢献を行っていることに敬意を表します。

日本は他国に先駆け、2004年に「中央アジア+日本」対話の枠組みを創り中央アジアの地域協力を促進してきました。昨年12月、第9回「中央アジア+日本」対話・外相会合を東京で開催し、喫緊の諸問題と協力について幅広い議論を行いました。来年、同対話の立ち上げから20周年を迎えます。この記念すべき年に、第一回「中央アジア+日本」対話・首脳会合を開催することにより、日本と中央アジア諸国の協力の基盤は一層強固になるでしょう。日本は、引き続き、トルクメニスタンを含む中央アジアの、開かれ、安定し、自立した発展を支えていく所存です。

トルクメニスタンとの経済協力の分野では既に多くの実績があり、日本企業の協力で作られたプラントが国内で数多く稼働しています。例えば、オヴァダンドペにおける天然ガスからガソリンを生産するプラント、ガラボガズにおける尿素肥料プラントは、天然ガスを精製処理し、高付加価値の製品を生産しています。また、2021年に完工したレバプ州チャルジェウのガスタービン火力発電所は、国内外への電力安定供給に大きく貢献しています。このような有益な二国間の協力プロジェクトが今後も実現していくことを期待しています。

本年は、6月のアルカダグ市オープニング式典への日・トルクメニスタン友好議員連盟メンバー及びデジタル副大臣の参列、7月の外務政務官の当地訪問など、議会及び政府のレベルで両国の交流が再始動した年でもありました。また、日本企業のトルクメニスタンにおける活動も活性化しています。日本語教育支援、日本への留学支援、広報文化も行われています。日本大使館は、政治・経済分野での交流に加え、文化交流や人的交流を再活性化し、両国国民の相互理解がより一層深まるよう全力で取り組んでいく所存です。

最後に、トルクメニスタンの平和と繁栄、大統領、国民の皆さんのご健康とご健勝をお祈り致します。